

個人所属シャイベ式SF28Aタンデム・ファルケ型（動力滑空機）
JA2177の航空事故調査について
（経過報告）

令和5年9月28日
運輸安全委員会（航空部会）

運輸安全委員会は、令和4年10月26日、岐阜県高山市において個人所属シャイベ式SF28Aタンデム・ファルケ型（動力滑空機）JA2177が墜落した航空事故について、令和4年10月から原因を究明するための調査を進めてきたところであるが、これまでの調査で得られた情報をもとに、更に事実の確認や分析を進めるとともに、関係国への意見照会を行う必要がある。このため、本件調査については、本航空事故が発生した日から1年以内に調査を終えることが困難であると見込まれる状況にあることから、運輸安全委員会設置法第25条第4項の規定に基づき、以下のとおり当該調査の経過を報告する。

なお、本経過報告の内容については、今後、新たな情報の入手等により、修正されることがあり得る。

また、本調査は、本航空事故に関し、運輸安全委員会設置法及び国際民間航空条約第13附属書に従い、航空事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故等の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行うものであり、本航空事故の責任を問うために行うものではない。

1. 航空事故の概要

個人所属シャイベ式SF28Aタンデム・ファルケ型（動力滑空機）JA2177は、令和4年10月26日（水）、岐阜県高山市の飛騨エアパーク（場外離着陸場）を離陸した後、岐阜県高山市高根町池ヶ洞付近の山中に墜落しているところを発見された。同機には機長ほか同乗者1名計2名が搭乗しており、2名とも死亡した。

2. 調査の概要

運輸安全委員会は、令和4年10月26日、本航空事故の調査を担当する主管調査官ほか1名の航空事故調査官を指名した。現時点までに関係者からの口述聴取、機体の整備記録等の調査、気象に関する情報収集等を実施した。

3. 判明している主な事実情報

（1）飛行の経過

同機は、機長ほか同乗者1名計2名が搭乗し、慣熟飛行のため富山空港へ向けて11時45分に飛騨エアパークを離陸した。同機は、到着予定時刻を過ぎても富山空港へ飛来せず、管制機関等との交信もなかったことから搜索救難活動が行われた。同日15時

4 5 分、岐阜県高山市高根町池ヶ洞付近の山中に、墜落していた同機が発見された。



図1 飛行計画上の経路



図2 事故現場の位置

(2) 死傷者

搭乗者2名とも死亡

(3) 航空機の損壊

大破：主翼の破断、胴体の変形等

(4) 気象

事故現場の西北西約2.5kmに位置する岐阜地方気象台の高山特別地域気象観測所の事故関連時間帯の観測値は、次のとおりであった。

12時00分	風向	北北西	、	風速	1.8m/s	、	気温	14.2℃	、	天気	晴
13時00分	風向	西北西	、	風速	3.5m/s	、	気温	16.2℃	、	天気	晴
14時00分	風向	西北西	、	風速	5.0m/s	、	気温	16.1℃	、	天気	晴
15時00分	風向	北西	、	風速	4.7m/s	、	気温	15.2℃	、	天気	晴

4. 今後の調査

本航空事故の原因及び本航空事故に伴い発生した被害の原因の究明並びに事故の再発防止策の検討のため、これまでの調査で得られた情報をもとに、同機が墜落に至った原因について、更なる事実確認や分析のほか、関係国への意見照会を行う必要がある。

本委員会は、これまでの調査、分析等によって得られた結果を踏まえて、引き続き本航空事故の原因等の調査を進める。